

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
1	A	茨城県立こども病院 検査科	IgGサブクラス	<p>今回の内容はとても興味のある内容で、多くの収穫があり、充実した時間をすごすことができ、ありがとうございました。</p> <p>1日目の実習では、フローサイトメトリーを院内でやっていないので、難しく感じられましたが、今回の実習を行って、それらに対する勉強をする突破口になりました。職場に帰ってから、テキストを読み返して理解を深めようとしています。</p> <p>2日目の複合抗体の実習では普段遭遇しないことでした。知識として知らないことも多く、同じ班の人に説明してもらい教えてもらいました。このように聞いて教えてもらえるという人がある、環境があるということが嬉しいと、実感しました。</p> <p>輸血の認定技師をとってから、何年もたちますが、このような機会があって参加でき、知識が増えたこと大変良かったです。</p>	<p>1つ目は自己抗体関連のことです。輸血する時までの検査の流れ、血液の選択など。</p> <p>2つ目は移植関連のことです。</p>
2	B	宮城県立こども病院 検査部	IgGサブクラス	<p>日頃携わらない検査についての実習でありましたが少人数のグループ編成で親切に教えていただきましたので理解が深まりました。</p> <p>テーマに沿った流れがきちんとあり、細部まで行き届いた指導がなされたと思います。</p> <p>盛りだくさんでありましたので時間的余裕はありませんでしたがそこは認定技師であるので、てきぱきと動く姿勢も大切かと思う次第です。私のグループは会話も弾み、それでもしっかり手は動かしているという達人の方が多かったのもそんなところにも新しい発見があり、楽しい経験でした。皆さんのお話にも結構参考にしたい内容がありました。</p> <p>ナイトセミナーも症例発表あり、ディスカッションあり、懇親会も兼ね、充実した時間が持てました。</p> <p>もしかしたら、せっかく遠方からいらしている方もいらっしゃるの、FCMとMMAの両方を体験できるといいかもしれませんが、それでは時間が足りなくなるし、実際参加者にも負担は増します。幸いテキストは読めばわかるように完璧に作られていますのでたとえばFCM実施グループにはMMAの鏡検だけしてもらおうとか、MMA実施グループにはFCM解析の見学をしてもらう等の方法もいいかも知れません。</p>	<p>とにかく一般病院ではなかなか深く追求することができないので、実技はどんなものでもやってみたいところです。</p>
3	C	福岡大学病院	MMA	<p>今回のセミナー二日間は、非常に密度の濃い充実した内容だったと思います。</p> <p>まず、実習込みの研修会というのは非常に貴重で、しかも通常の輸血関連研修会ではできない珍しい内容ということもあって、とても満足しております。</p> <p>今回の内容を頭の中で消化するには、まだ日数がかかるとは思いますが、十分に消化し当院の他の技師に伝えていけたらと考えています。</p> <p>他の施設の方々ともまべんなくお話(意見交換)することができたのも、スタッフの方々にいろいろとご配慮して頂いたお陰だと思っています。</p> <p>また、実習でもトラブルなくスムーズに行えたのも、皆さんのお陰だと思います。</p> <p>(九州の研修会等でスタッフとして携わった時には、なかなかこのようには出来ませんでした。なにかしらアクシデントがあるものですが・・・)</p> <p>時間に余裕があれば、もっとゆっくりお話ができたのに～と、少し残念です。</p>	<p>2か月前前に、当院では初めての血液型不適合腎移植がありまして、医師、技師共に文献等を頼りに抗A抗B抗体価測定を行ったところです。</p> <p>医師が言われるプロトコルをもとに行いましたが、なにか参考にできる内容で講習があったら(測定する間隔、どこまで抗体価を下げるのか、実際の手技など)いいなあと、個人的には思います。</p> <p>抗体価測定は、試験管法、カラム凝集法や他にもあると思いますが、他施設でどのようにされているか興味があります。</p> <p>また、抗体価測定を試験管で行う際、当院のマイルールで行っているのでは・・・と懸念するところもあり、標準化の意味でも教わってみたいですね。</p>

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
4	D	埼玉県赤十字血液センター	MMA	<p>実習内容と講義、両方ともに意義のあるものでした。 少し気になったのは、実習の内容が充実しているので時間がもう少しあったら良いと思いました。2日目の実習はとくにその傾向があると感じました。 懇親会は前回のレストランよりも会場が広く良かったです。 それと、前回とまた比べてしまうのですが、実習室が暑くなく快適でした。</p>	<p>1. イムノプロットング法 (Kx蛋白の証明、グリコフォリンA(GPA)、グリコフォリンB(GPB)、Gerbich等) 2. C4血球調製と被検血漿の抑制試験 抗Chido、抗Rodgersの鑑別について 3. reticulocytoの分離 今回の講義で内川先生が話していた内容 4. EDTA-グリシン塩酸解離法を用いた自己抗体と同種抗体の鑑別 DT解離ではなく、解離液と血球が使用できる解離法での実習</p>
5	E	北見赤十字病院 検査部	IgGサブクラス	<p>実習内容は初めて聞くことばかりでとても勉強になりました。 IgGサブクラスの実習では、フローサイトを使った手技は、当院では無理かなあ～ と思っていますが、IgGサブクラスについての知識というか問題点などを詳しく知ることができたのが収穫でした。 ちなみに、フローサイトメーターの購入をさりげなく打診してみましたが、「まあ、よっぽど黒字になるなら考えるけど難しいだろうね」と予想通りの反応でした。 もう一つの二重吸着解離試験も、吸着させる血球量が確保できるかがポイントになるでしょうか。 知識や手技を習得しても、なかなか”道具”を揃えるのは難しいということが分かったことも収穫でした。 また、特別講演の内容も大いに勉強になりました。 特に今回のテーマでもある「母児免疫」に関する、高橋秀憲先生の講演は当院のNICUを担当する医師と情報共有しておきたいと考えています。</p>	<p>機会があれば、今回できなかった 単球貪食試験</p>
6	F	前橋赤十字病院	MMA	<p>普段、安全な血液の提供だけを求められているので、臨床的な「母児免疫と輸血関連検査」というテーマでやっていただけたのはとても勉強になりました。MMAは普段とてもできないですが、何かのときにこんな検査があるという提案ができると思います。また、一つの抗体が見つかる満足してすぐ結果を出してしまいましたが、内川先生の講義や二重吸着解離試験を経験してみて、考え方の幅が広がった気がします。 ナイトセミナーまで・・・と思っていましたが、ほとんど経験したことのないHDFNのお話が聞くことができよかったです。 また、アッセイ中に実習班の人との情報交換？というか病院事情なんか聞いてよかったです。</p>	<p>当院では特殊なことはやっていないのでなんでも勉強になりますが、移殖の辺りは本を読んで頭がぐちゃぐちゃになり、また、リアル感が持てていないので、やっていただけるとありがたいです。その辺に附属して混合赤血球の分離とその後の処理の仕方 また、抗PHA抗体や抗HLA抗体の検出やLCT試験など、これから多分できないことがやれたらなあと思います。</p>
7	G	富山県立中央病院	IgGサブクラス	<p>今回、テクニカルセミナーに参加させていただいて、普段ルーチンでは行わない検査を実習で行うことができ、とても勉強になりました。 今後行われるのであればまた参加させていただきたいです。 今回はIgGサブクラスを選択しましたが、MMAのほうもぜひやってみたいと思いました。 一つ個人的な希望としては、IgGサブクラスの実習で、測定している間に隣の部屋で説明をしていただいたときのスライドの資料をいただければうれしかったです。</p>	<p>複数抗体の同定や、自己抗体と同種抗体が共存している場合の同定法など。 ルーチンでそれほど経験することがなくてあまりやったことがないので、実習で勉強できたらいいなと思います。</p>

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
8	H	国立病院機構 岡山医療センター	IgGサブクラス	他施設の方と意見交換・交流が持てよかった。 ナイトセミナーはあまり経験したことのない形式だったけど すごくよかった。 フローサイトに興味を持った。もっと勉強してみたいと思った。	フローサイトの基礎的な知識を学びたい。 移植関連たとえば、造血幹細胞移植の分野、リンパ球のクロスマッチや、HLAのタイピングやHLA抗体スクリーニングの知識や技術など、赤血球以外のことをもっと学ぶ機会があればいいと思う。
9	I	長岡赤十字病院 輸血部	IgGサブクラス	受講して本当に良かったと実感しております。 内川先生のお話を伺い、日常の抗体同定時に???と悩んでいた事の解決の糸口が見えたような気がしました。 高橋先生のお話では、普段臨床側の視点からのお話はなかなか輸血部に聞こえてこないのが大変勉強になりました。 実技研修のIgGサブクラスの鑑別は目から鱗でした！検査室内にありながら輸血部として使用することのないフローサイトメーターを(予算&技師長が許せば)このように有効に輸血検査にも生かせるのだと思いました。それを期にキメラ・モザイクなど血液型に使う等輸血部が侵略していいかも……。 また、二重吸着解離試験による鑑別の実習は是非これからは活かして生きたいと思いました。安田先生にはいろいろと低レベルの質問をしましたが親切にご指導いただき感激でした！！	自己抗体と同種抗体の共存の場合の検査は常に頭を悩ますのでまた取り上げていただきたいです！
10	J	東邦大学医療 センター - 佐倉病院 輸血部	MMA	セミナー - 開催に向けて準備等で色々大変だったと思いますが、ご苦勞様でした。そしてありがとうございました。 研究班時代に実技講習会等で検体調整や試薬準備、資料の作成で苦勞しましたが今回のポリウムはその比ではありませんでした。 血液型不適合妊婦の管理について、改めて勉強でき参考になりました。 当院では地域周産期母子医療センターとして産科21床、NICU8床、GCU6床ありますが、ここ数年交換輸血は経験していません。 しかし、もしかしたら交換輸血や輸血が必要かもという症例は年に数例経験しますので、適合血の選択には今回のセミナー - での知識や技術が役にたつと思います。 若い技師にさっそく資料を見せて、勉強させています。	個人的には移植検査(血清学的検査です)をしていたのでDNAタイピング(HLA、血小板、赤血球)に興味があります。 特に赤血球は抗A、抗B血清がモノクロになってから吸着解離試験の結果に信頼が持てないので特に興味があります。 また、細胞治療などの分野で輸血部で係られる業務、実際にやっている施設の話など聞ければ参考になります。 これからは、細胞治療の分野に輸血部技師が必要となると思いますので、宜しくお願いします。 また参加できればと思いますので、大変だと思いますが次回も是非お願いします。
11	K	栃木病院	IgGサブクラス	輸血テクニカルセミナー・アドバンスについては、去年の輸血学会関甲信支部例会会で知りました。 福島に向かう新幹線のなかで自分が参加していいセミナーかどうか、どういうセミナーになるのか緊張していました。 実際栃木県からも自治医大の方が参加されていましたし、参加されている方の施設名を見たときはビックリしましたが始まると余裕がないせいか緊張どころではありませんでした。 しかしセミナーのおかげで同じ関東にいながら面識のなかった慶応の上村さんと話ができましたし、時間の制限があったのが残念ではありましたが普段できない検査をすることができ、たいへん勉強になりました。 次回も抽選に当たった時は是非参加させて頂きたいと思っています。 2日間の実習、両方で御世話になった小野さんによるしくお伝えください。	自施設で行うには無理かもしれませんが、遺伝子検査の技術を学ぶことができればと思っています。

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
12	L	久留米大学病院 臨床検査部 輸血検査室	IgGサブクラス	<p>充実した2日間、本当にありがとうございました。企画、運営から準備までと福島県立医科大学のスタッフの方々には頭が下がる思いです。</p> <p>この度は、IgGサブクラスの鑑別でFCMを選択しましたが、普段行っていない検査なので、とても貴重な経験でした。</p> <p>実際、検体を処理し、FCMで測定という流れでしたが、思ったのは、プロトコルを作成するところからが大変だと思いました。当院でも、血液内科の医局に今回と同じFCMの機械がありますので、今後は活用していきたいと思えます。</p> <p>時間の関係もあると思いますが、全員が機械に触れたらよかったですかと思いました。(素人が処理して、測定するので大変だったとは思いますが……)</p> <p>抗Gの二重吸着は、最後、弱い凝集で判定に苦慮しましたが、理屈が分かり、今後の検査に生かせたらと思えました。</p> <p>ただし、日赤の協力無しには不可能なことも知りました。なかなか、吸着する血球を得るのは困難なので、今後は、日赤が素早く目的とした血球を医療機関に配布できるような体制作りも必要だと思いました。</p> <p>ナイトセミナーは、時間の関係もあったとは思いますが、もう少し、討論の時間が欲しかった気がします。</p>	<p>今後は、温式自己抗体陽性時の対処方法、FCMを利用した血液型亜型の鑑別、遺伝子関連などを開催していただけたらと思えます。</p>
13	M	自治医大附属病院 輸血・細胞移植部	MMA	<p>なかなか遭遇できない複合抗体の同定の仕方や、MMAを実習でき、本当に良かったとおもいます。実際に経験できたことは記憶に残ります。ありがとうございました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな抗原の特異性 今回、内川先生が触れていましたが、自己抗体を持ちやすいとか、もっといろいろお聞きしたいと思った。 ・いろいろな解離法の特徴 酸解離はやったことがありません。 クロロキンは洗浄中に溶血し、うまくいかないケースがあります。向き不向きを教えてください。 ・FFP、アルブミンの動態 どうしたら使用を減らせるのか、どのくらいのデータまで我慢できるのか。赤血球や血小板はわかるのですが、FFP、アルブミンがよくわかりません。
14	N	新潟県立がんセンター新潟病院 輸血室	IgGサブクラス	<p>テクニカルセミナーへ参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>産科領域の講義は、今まであまり聞く機会がなかったので、大変参考になりました。</p> <p>IgGサブクラスの実習：普段フローサイトメトリーをやっていないので、基礎的なことがわかっておらず、結果の解釈も曖昧になってしまいました。フローサイトの基本なども講義に入れて欲しかったです。</p> <p>MMAの実習：機会があれば受講してみたいです。</p> <p>二重吸着解離試験の実習：重要な検査であることはわかりましたが、一般病院で、吸着用の血球を必要量入手するのは困難かと思われます。そのような時には、どうすれば良いのでしょうか？</p>	<p>吸着用の血球の入手の仕方。および、入手したとして、その血球の保存方法。また、凍結保存するならばその解凍の仕方なども学びたいです。</p>

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
15	O	手稲溪仁会病院 輸血検査室	MMA	<p>母児不適合に特化した内容での勉強会を開催するのは、地区ごとではなかなか難しく、今回のようにじっくりどっぷり周産期のお話を伺ったり、実習を経験できたのは、貴重でした。</p> <p>また、輸血学会で遠目にでしか拝見することのできなかった大戸先生を身近で見られ、感激しました！</p> <p>少し残念だったのは、参加者同士の交流が少なかった事です。お互い初対面ということもあり、打ち解けるまでに時間を要し、ようやくお知り合いになれたと思ったら研修終了、といった感じで、もう少し情報交換の時間が持てたらと思いました。</p>	<p>地区ではなかなか取り上げにくいテーマ、例えば移植時の対応や、同定が困難な複合抗体、混合血球の分離など、黒本には載っていないながら実施する機会がない検査などを経験してみたいと思いました。</p> <p>また、今回のテーマは非常に興味深く、今後も継続して開催していただけたらと思います。</p>
16	P	慈恵医大附属病院	IgGサブクラス	<p>スタッフの意識の高さに感銘しました。</p> <p>ルチン検査や当直などやりつつ、準備が大変だったと思います。</p> <p>お疲れ様でした。</p>	<p>技術、知識研修は、ある程度図書で自習できることだと思うのですが。。後進を育成する技術？多忙なルチン業務の中から時間をどのようにみつけ各自のスキルを高めていくか？</p> <p>実際に行っているスケジュールなど教えていただければ、幸いです。</p>
17	Q	日本海総合病院	IgGサブクラス	<p>内川先生の話は検査を進める上で理論的に結論付けて行く過程が参考になった。分かりやすいので別の内容の話も聞いてみたい。</p> <p>IgGサブクラスはほとんどの施設がフローサイトを持っていないので、原理的などところや基礎的などところから教えてもらえるととっても良かった。ゲート作成やプロトコルを作成する作業の大変さやSN比などわかりやすく教えてもらったところもあった。</p> <p>ナイトセミナーは症例を絞り込んでもっと討論した詳しい内容(意見)も聞きたかった。</p> <p>二重分離ははじめてだったのでとても参考になった。</p> <p>周産期管理は臨床側の詳しい話を聞く事ができ、検査側とは違った目線で捉える事ができ内容的にとっても良かった。</p>	<p>内川先生の話は抗原から一步進んで、血球蛋白の分子レベルでの話を聞いてみたい。</p> <p>血球のDTT処理なども正確にやっているか自信が無く、薬剤起因制の直接クームスの鑑別などもやった事が無いのでやってみたい。</p> <p>今回の二重分離など私たちの知らない知識を紹介してほしい。</p> <p>血球だけでなく、血小板抗体やHLA抗体、血漿蛋白抗体なども教えてほしい。</p> <p>今回の経胎盤出血のkleihauer Betkie検査も詳しく聞きたい。</p>
18	R	三重大学医学部附属病院	MMA	<p>この度は、テクニカルセミナーへお招き頂きありがとうございました。スタッフの皆様の手際よさと丁寧な指導に感謝しております。</p> <p>日常起こりうる、不規則抗体陽性妊婦の検査ということで、とても勉強になりました。</p> <p>今後、抗D抗体を検出した際には、抗G抗体との判別を行い主治医にアドバイスできるよう活用していきたいと思っております。</p>	<p>自己抗体を検出した際の精査、重要性、対応など知識を深めたいです。</p>
19	S	山形大学医学部附属病院 輸血部	MMA	<p>実は、MMAの名称すら知りませんでした。臨床的に意義のある抗体は「37 反応性」程度の知識で輸血検査を行ってまいりました。</p> <p>今回参加して、ハード面に依存する事なく、意欲さえあればいろんな事が出来るんだと教えて頂きました。私自身、大学に来て間もなく、まだ右往左往しております。ルーチンでは検体処理に流されてしまいそうになりますが、日常遭遇する症例を掘り下げて考え検査しようと思っています。今回、実習させて頂き大変ありがとうございました。</p>	

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2009 メールアンケート

	受講者	所属	選択	セミナーの感想	学びたい技術・知識
20	T	新潟大学医歯学総合病院	IgGサブクラス	頃、実務では行っていない検査をすることができ、大変勉強になりましたし、また楽しかったです。 当院でもFCMを使えるようにし、サブクラスやMMAができるようにしたいと考えています。	血液センターではFCMを使って亜型の検査も行っているようですが、FCM使った赤血球抗原系の検査も学んでみたいと思います。